

◆◇-----
 感染症に関する情報

◆◇-----◇◆
 【二類・三類感染症等発生届】

報告週	二類感染症	三類感染症
43週 (10/23~10/29)	—	—
44週 (10/30~11/5)	結核 1	—
45週 (11/6~11/12)	—	腸管出血性大腸菌 1
46週 (11/13~11/19)	—	腸管出血性大腸菌 1
47週 (11/20~11/26)	結核 1	—

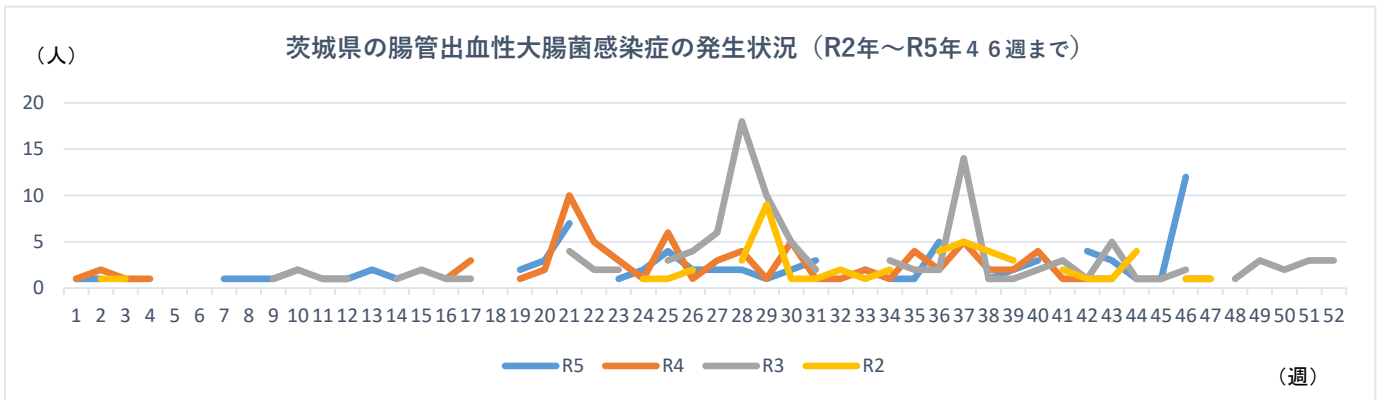
○腸管出血性大腸菌感染症

＊令和5年11月17日に茨城県感染症対策課長より医療機関に、事務連絡「腸管出血性大腸菌感染症の頻発について」が発出されています。
 茨城県の報告では46週12件でした。これは、令和5年11月29日に公表されたりんご園（大子町）における試食用りんごを原因とする食中毒の発生が影響しています。この件での0-157患者数は、現時点で累計12名が報告されているところです。

腸管出血性大腸菌感染症は、強い毒素を産生する大腸菌を原因とする感染症です。腹痛、水様性下痢及び血便が主症状ですが、**小児や高齢者等では、溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症等の重篤な合併症を引き起こし、命に関わることもあります。**菌に汚染された食品の喫食による経口感染に加え、手や物を介した二次感染もみられます。予防策として、**生肉や加熱不十分な肉の喫食は避ける、調理器具の使い分け及び十分な洗浄を行う、手指消毒などを心がけましょう。**

★茨城県三類感染症発生速報（腸管出血性大腸菌感染症）

https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/sokuho/03_tyoukanh.html



【主な感染症の報告状況】 定点医療機関あたりの報告数で茨城県を上回っている感染症

○46週 (11/13~11/19)

	筑西保健所管内	茨城県
感染性胃腸炎	5.00	2.64
水痘	0.14	0.08
手足口病	1.86	0.79
突発性発疹	0.29	0.11

★茨城県感染症流行情報 (2023年46週)

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/weekly/documents/2023idwr46.pdf>

【季節性インフルエンザ】

筑西保健所管内の定点当たりの報告数は、43週 14.64、44週 13.00、45週 13.36、46週 9.09、47週 17.55 でした。46週に

5週ぶりに注意報レベルの10を下回りましたが、47週に大きく増加しました。なお、茨城県は、43週19.49、44週21.78、45週16.44、46週17.49と全国の報告数を下回っています。

★茨城県インフルエンザ流行情報 2023-2024年(第11報)

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/documents/2023sflureport11.pdf>

★インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等措置・集団発生等の状況について(第11報)

https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/documents/2023_24flu11.pdf

★茨城県感染症流行情報月報(2023年10月号)

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/std/documents/2023mrp10.pdf>

★茨城県衛生研究所における病原体検出情報(2023年10月号)

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/microbe/documents/202310kensyutu.pdf>

【新型コロナウイルス感染症】

筑西保健所管内の定点当たりの報告数は、42週(10/16~22)2.91、43週1.27、44週1.27、45週1.73、46週0.91でした(別表1)。10月27日以降、11月29日までに、2施設でクラスターの発生がありました。

【感染症診断時の医師による届出】

*令和5年11月13日に筑西保健所より、次の通知を医療機関に発出しております。

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項に基づく届出等について」

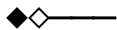
医師による届出は、令和4年度より感染症サーベイランスシステムに移行しましたので、活用への御協力をお願いします。

また、診断後直ちに届出した場合は、保健所への一報(休日・夜間は緊急連絡先へ)も併せてお願いいたします。

診断後直ちに届出を要する感染症の一例：結核、腸管出血性大腸菌、赤痢、腸チフスなど

＜感染症サーベイランスシステム＞

書面(FAX)による届出から、インターネット経由(パソコン・スマートフォンなど)の入力・閲覧が可能となりました。アカウントの登録にあたっては、当所保健指導課宛て相談ください。



お知らせ



【令和5年度第2回感染症診療における早期対応に関するWeb研修会】

*令和5年11月6日に茨城県医師会、感染症対策課より医療機関に、開催通知が発出されております。

日時：令和5年11月30日(木)18時00分~19時10分

内容(1) 新型コロナウイルス感染症・季節性インフルエンザの発生動向等

(2) 冬に備えた新型コロナウイルス感染症・季節性インフルエンザの診断治療 up to date

筑波大学 医学医療系 臨床医学域 感染症内科学 教授 鈴木 広道 先生

(3) 知っておいて欲しい結核の知識・見逃さないで欲しい結核の診断(仮題)

筑波学園病院 副病院長・患者サポートセンター長・感染管理室長 船山 康則 先生

【健康危機管理に係る保健所の休日・夜間の連絡体制】

*令和5年11月2日に県感染症対策課より各医療機関に通知が発出されております。御確認下さい。

【高病原性鳥インフルエンザの県内発生】

高病原性鳥インフルエンザ(H5亜型)が笠間市内の採卵鶏農場で発生し、防疫完了に必要な作業が実施されています。鳥インフルエンザの感染確認は今シーズン全国2例目です。管内発生時には、防疫作業従事者等の体調不良時の受診受入れについて、御協力をお願いいたします。

★茨城県鳥インフルエンザ関連情報のホームページ

<https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/chikusan/kachiku/infuru/index.html>